

## 今日の説教のポイント<創世記 18 章 16～33 節>

### ①ソドムの町とは？

ソドムの町はロトがおじアブラハムと別れて住む時に選んだ町で、ヨルダン川流域の潤った低地にありましたが、「ソドムの住民は邪悪で、主に対して多くの罪を犯していた」(13:13)と記されていました。この後 19 章では、町にやって来た二人の御使いをもてなしたロトの家に、「ソドムの町の男たちが、若者も年寄もこぞって押しかけ、なぶりものにしよう」としたのです(19:4-5)。

### ②なぜ主はアブラハムに、これからなさることを告げられたのか？

主はソドムの罪の叫びを聞かれ、それを確認して、本当だったら町を滅ぼすつもりであることをアブラハムに告げられました。なぜなのでしょう？ その理由として、「正義を行うこと」(19)が強調されています。一見、アブラハムとその子孫がなすべき正義が問題とされているように思えますが、そうではありません。その後、アブラハムは、「全世界を裁くお方は、正義を行われるべきではありませんか」(25)と問うのです。神様ご自身の正義が 18 章で問われているのです！

### ③アブラハムが問い続けるのをやめて去ったその先に見るべきこと。

アブラハムが、「正しい人が 5 人いたなら」と聞くのをやめてしまったのはなぜでしょうか。ゼロまで行くと悟ったからでしょうか。暗くなりますね。そうではなく、アブラハムと神のやり取り全体から考えるべきは次のようなことではないでしょうか。神様は、正しい者がわずかでもいれば、その者たちのゆえに町全体を赦そうと考えて下さっているお方なのだ、と。ここに希望があります。しかし、自分は正しいと言える人はいるのでしょうか？ 人間に希望を持つことはそんなに簡単にできることではないはずです。だからこそ、神の正義が必要となるのです。ご自身の御子を送られ、人間の罪を贖うために十字架につけて下さった神様の正しさが必要となるのです。そして、それに打たれ、その後が続いて生きる者が求められているのです！